

## → 神の好意

## ➤ エステル記に見る神の好意

エステル 2:9 このおとめは、ヘガイの心にかない、**彼の好意を得た**。そこで、彼は急いで化粧に必要な品々とごちそうを彼女に与え、また王宮から選ばれた七人の侍女を彼女にあてがった。そして、ヘガイは彼女とその侍女たちを、婦人部屋の最も良い所に移した。

エステル 2:15 さて、モルデカイが引き取って、自分の娘とした彼のおじアビハイルの娘エステルが、王のところには行って行く順番が来たとき、彼女は女たちの監督官である王の宦官ヘガイの勧めたもののほかは、何一つ求めなかった。こうしてエステルは、**彼女を見るすべての者から好意を受けていた**。

エステル 2:17 王はほかのどの女たちよりもエステルを愛した。このため、彼女はどの娘たちよりも王の**好意と恵みを受けた**。こうして、王はついに王冠を彼女の頭に置き、**ワシュティの代わりに彼女を王妃と**

エステル記には、「神」という言葉が一言も出てきません。しかし神様という言葉が無くても、エステル記を読むときに、神様が歴史を支配されていることが一目瞭然です。神様がエステルと養父モルデカイに人々から好意を受けるようにされ、ユダヤ民族の絶望の危機から救われました。

## → モルデカイとエステル

みユダヤ人たちがバビロン捕囚してから 70 年後、時代はペルシャ帝国の時代に入っています  
ユダヤ人たちが捕囚の民からエルサレムに帰還されることを許された時期の出来事、ペルシャに住んでいるユダヤ人たちを舞台としています

## ➤ モルデカイは神を恐れる人

- 1 虎児となった、エステルを養女として育てた【哀れみの心をもった人 2:7】
- 2 王様への暗殺計画を聞いた時に、見過ごさないで、エステルに伝え王に伝えた【王を敬った人 2:22】
- 3 決して偶像礼拝を行わなかった。ハマンに対して身をかがめることはなかった。結果的にハマンの怒りを買って、ユダヤ人の絶滅の危機になった【神を恐れない世の中に妥協しなかった人 3:2~6】
- 4 ハマンのユダヤ人絶滅の危機を聞いて、灰をかぶり、祈った。【神様に助けを求めた人 4:1】
- 5 民族の救いを第一に願った。エズラに王様へ嘆願するように要請。【民族の救いの為にとりなした人 4:13】
- 6 モルデカイは、王様の好意を得て、王様の次に位置する位を与えられた。ユダヤ人絶滅から救った

10:2 彼の権威と勇気によるすべての功績と、王に重んじられたモルデカイの偉大さについての詳細とは、メディアとペルシャの王の年代記の書に記されているではないか:3 それはユダヤ人モルデカイが、**アハシュエロス王の次に位し**、ユダヤ人の中でも大いなる者であり、彼の多くの同胞たちに敬愛され、**自分の民の幸福を求め、自分の全民族に平和を語ったからである**。

## ➤ エステルは、神様に従う人

1. 養父であるモルデカイの言いつけに従った【2:10】
2. 養父から、ユダヤ人絶滅の危機を聞いて、断食を要請した【4:16】

4:16 「行って、シュシャンにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとえ法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならないのでしたら、死にます。」

## 3. 自分の命をかけて、ユダヤ民族の為に王様の元に行った【5:2】

エス 5:2 王が、庭に立っている王妃エステルを見たとき、**彼女は王の好意を受けたので**、王は手に持っていた金の笏をエステルに差し伸ばした。そこで、エステルは近寄って、その笏の先ににさわった。3 王は彼女に言った。「どうしたのだ。王妃エステル。何がほしいのか。王国の半分でも、あなたにやれるのだが。」

➤ ノアに見る神の好意

創世記 6:8 しかし、ノアは、**主の心にながっていた**。9 これはノアの歴史である。ノアは、正しい人であって、**その時代にあっても、全き人であった**。**ノアは神とともに歩んだ**。

➤ ヨセフに見る神の好意

創世記 39:20 ヨセフの主人は彼を捕え、王の囚人が監禁されている監獄に彼を入れた。こうして彼は監獄にいた 21 しかし、**主はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心にながう**ようにされた。:22 それで監獄の長は、**その監獄にいるすべての囚人をヨセフの手にゆだねた**。ヨセフはそこでなされるすべてのことを**管理するようになった**。23 監獄の長は、ヨセフの手に任せたことについては何も干渉しなかった。**それは主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったからである**。

創世記 50:20 あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。

➔ 神様は何の為に人々に好意を与える？

II 歴代誌 16:9 主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心のご自分と全く一つになっている人々に**御力をあらわしてくださるのです**。

➔ 初代教会も神様により好意が与えられて増殖して行った

使徒:41 そこで、彼の**ことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた**。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。42 そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。43 そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって、多くの不思議なわざとあかしの奇蹟が行なわれた。44 信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。45 そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。46 そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、47 神を賛美し、**すべての民に好意を持たれた**。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

キングスチャペル岩国も神様の好意にあずかってきました。様々な方を用いて教会が建設されてきました。神様は、貴方をも個人的に神様の好意を与え、神の御国の拡大の為に用いたいと願っておられます。

➤ 神様の好意を受けた人々から学びましょう

- 1 初代教会の信者が、すべての民に好意を持たれました【使徒 2:47】
  - ✓ クリスマンになって、どのくらいの割合で教会に行っていましたか
  - ✓ 教会では、礼拝すること以外に何をしていたでしょうか。
  - ✓ クリスマンになって、自分の財産をどのように扱うようになったでしょうか。
2. 貴方がエステルならどうしますか。王宮にいてユダヤ人虐殺の危機の時、誰も自分がユダヤ人だと知らない時に、だまって見過ごしますか。それとも自分の命を投げ出しますか。
3. モルデカイの生き方から何を学びましたか。皇帝礼拝【人を礼拝すること】を強制されたらどうしますか
4. ノアの時代、世の中はどのような状態でしたか。神様はどうして、世の中を洪水で滅ぼしたのでしょうか。
  - ✓ ノアはその時代でどのように生きた人でしたか。
  - ✓ ノアが神様から好意を受けた結果、ノアの家族はどうなりましたか。
5. ヨセフは兄弟にねたまれ外国に売り飛ばされました。ヨセフは兄弟をうらみ続けて生きていましたか。
  - ✓ ヨセフは自分に起こった不幸な状況をどのように神様の視点でとらえていますか。兄弟とどのように和解しましたか。【創世記 50:20】
6. これらの信仰の人々の共通点は何でしょうか。貴方はどのように見習っていきたいですか。